



一 弊を正すに法律

は必要にして多岐

今上は之を親任して

國家の樞機を以て統

治を成す其為邦家

大慶に至るべき也

海内小生皇恩に所感

あるを以て法律を

前由に諸

君及び貴衆を以て

新

君及び貴衆方院

儀名に一閱を煩せし

其公身之有之其支

今又更之つね下と高

晚を仰き及堪其望

之玉之公座之右迄との

表情之参考如下

幸いに國民一好く

直接の接の便宜

之示論如下あり

満是之玉之好あり

右得之意及び女氏

未定あり 其好あり

幸以國民一故

直接可接之便宜

以示論如下

滿是之至

在得之意及也

未定也 予一故矣

東知事丹六道

前代議士

七月六日 西川守吉郎

若吉屋市
南鍛冶屋所住

大隈内閣總理大臣閣下



東京
大隈内閣總理大臣殿





名古屋市南鍛冶屋町百拾九番戸

西川宇吉郎

明治卅一年七月六日